

あぐりめ〜る新川

第52号(平成23年9月発行)
 富山県新川農林振興センター
 〒938-0801 黒部市荻生3200
 (TEL) 担い手支援課 (0765)52-0268
 (0765)52-5192
 農業普及課 (0765)52-0094
 (0765)52-0945
 (FAX) (0765)52-3115

新川管内の園芸品目1億円産地づくりの取り組みについて

県内野菜流通に占める県産の割合が約13%と低いものの、新鮮で安全安心な地場産作物への期待が高まっています。このため、県では1億円規模の園芸産地づくりを支援し、管内においても、それぞれのJAが戦略品目を選定しながら、園芸作物の大規模産地育成を目指しています。

～各農協の取組み品目～

農協名	戦略品目	栽培等の特徴と販売金額	主な作業時期
みな穂農協	さといも	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化作業が確立 ・労働時間が少なく省力栽培 ・収穫後貯蔵による冬期間労力を活用した出荷 H22販売金額 5,030千円	さといも 定植5月 収穫11月 出荷期間11月下旬～1月
	もも	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け後3年程度で結実、収穫 ・稲刈り前の8月までに収穫・出荷 ・樹上で熟させて収穫するので、甘みが強い H22販売金額 4,589千円	もも 摘果・袋かけ 5月中～6月下旬 収穫・出荷期間 7月下旬～8月下旬
黒部農協	にら	<ul style="list-style-type: none"> ・小面積でも高い売り上げ確保 ・「海藻アルギットにら」のブランド名で他産地商品と差別化 ・葉が厚く、店頭での日持ちが良い H22販売金額 10,317千円	にら 定植5～6月 (4年に1度) 収穫・出荷期間 6～10月
	ねぎ類	<秋冬白ねぎ> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積当たりの売り上げが大きい。 ・販売体制が整備済み <短葉性ねぎ「ねぎたん」> <ul style="list-style-type: none"> ・生育期間が短く、省力栽培 ・普通のねぎより短く、使い切りサイズ ・辛みが少なく、葉も柔らかい H22販売金額 黒部農協 22,019千円 魚津市農協 2,541千円	秋冬ねぎ 播種2～4月 定植4～6月 収穫・出荷期間 9月中～12月中旬 「ねぎたん」 播種2月中～5月上旬 定植4月中～6月中旬 収穫・出荷期間 7月中～11月中旬
魚津市農協	ばれいしょ	<ul style="list-style-type: none"> ・省力的で栽培が容易 ・貯蔵出荷が可能 ・品種「はるか」は煮物料理やサラダに最適 H22販売金額 228千円	ばれいしょ 定植3月下旬～4月上旬 収穫・出荷期間 7～8月

農林振興センターでは、これらの取り組みを支援するとともに、園芸作物を導入した経営の複合化を推進しています。

単収の向上を目指した麦づくり

～技術対策の徹底で高収益を確保！～

1. 現状

富山県産大麦は、実需者から主食用（切麦、押麦等）、麦粉用などとして高い評価を得ており、さらなる増産と安定した生産が求められています。しかし、23年産は単収の低下により、需要量を大きく下回りました。

特にJAみな穂、JAくろべ管内の落ち込みが大きく、24年産の播種に向け徹底した技術改善が必要です（図1）。

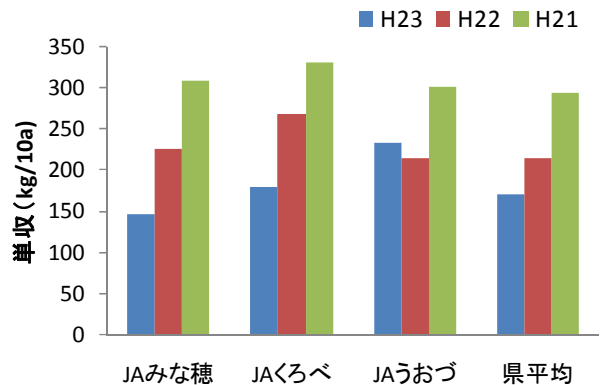


図1 大麦の農協別単収

減収の要因として以下のことが上げられます。

(1) 播種時

①9月下旬の降水量が多かったことから、ほ場が乾かず播種時期が遅れました。

②排水の悪い条件で播種されたほ場や、播種時期が遅れたほ場では、10月下旬からの降雨により苗立ち不良に加え生育も緩慢となりました。

(2) 生育期

①降雪量が多く、積雪期間が長くなったため、生育は遅れ出穂期が遅くなりました。

②排水の悪いほ場を中心に湿害により生育量不足となりました。

(3) 登熟期

5月の降水量は多く、気温はやや低く、日射量はやや不足気味で、登熟条件は全域的に悪くなりました。一部地域では、5月の初旬と下旬に強風の影響も受けました。

登熟期の気象的な要因は仕方がないとしても、単収を大きく下げる要因となった穂数不足はしっかりと改善すべきです。

2. 1等・Aランク（硝子率40%以上、白度43以上、容積重690g/l以上）をとるための第1歩は、適正な茎数から！

穂数が多いほど単収は増加する傾向になりますが、一方で細麦化による品質低下の危険が生じるので、**適正な穂数は450本/m²程度**となります。

この為には、**越冬前に茎数を600～800本/m²確保**する必要があります（図2）。

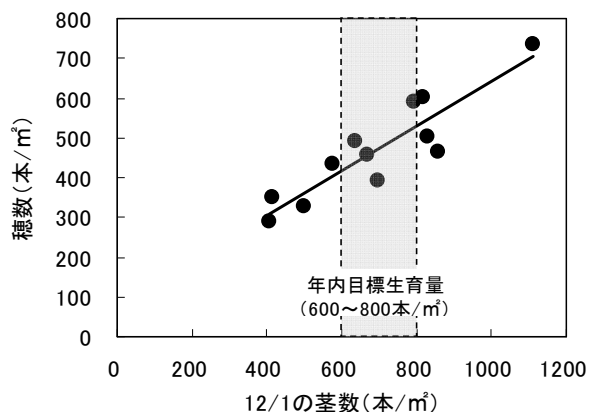


図2 越冬前の茎数と穂数(H23年県生観等)

<年内の改善ポイント3>

その1、稲刈り後、直ちに排水溝を設置し、ほ場を乾かす！

- ①作付け予定地では排水に努める。
- ②稲刈り直後に、「額縁排水溝」とほ場の長辺方向に「7～8m間隔の溝」を設置する。
- ③排水溝と排水口を確実に連結する。



その2、計画的な播種作業により適正苗立数へ誘導する！

播種は早さよりもほ場の乾きが重要！

- ①石灰質資材100kg/10a以上施用しpH6.0以上を確保する。
- ②乾いたほ場から、耕起、播種、作溝の一連の作業を一日で完了する。
- ③「幅は30cm、深さは20cm以上の溝」を設置するとともに排水溝と必ず連結する。
うね幅は、3m程度のかまぼこ型の高うねとする。
- ④適正な苗立数に誘導するため、播種時期に応じた播種量を厳守する。

【播種時期ごとの播種量の目安】

播種時期	適正苗立数 (m ² 当たり)	播種量の目安(10a当たり)	
		ドリル播	表面散播
9月6半旬	140本	6.0kg	6.5kg
10月上旬	150本	6.5kg	7.0kg
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg



左：播種が深いため生育不良
右：適正

- ⑤ドリル播きでは、播種深度は3cm程度とする。
なお、ドリル播きのほ場で、雑草が繁茂するため減収すると見込まれる場合は、除草剤を適切に使用する。

その3、地力に応じた基肥施用と生育に応じた的確な追肥！

施肥は、下記の施肥量の目安を参考に施用する。なお、分施肥体系では追肥は生育に応じた的確に行う。

【10a 当たり施肥量の目安】

	地区	基肥	年内追肥	消雪後追肥	止葉展開期追肥
分施	朝日 入善	燐加安14号 40kg	硫安 20kg	硫安 15～20kg	硫安 0～10kg
	黒部	BB特15号 45kg	〃	〃	〃
	魚津	BB555 30～40kg	〃	〃	〃
一発	共通	LP大麦48号 45kg	-	-	-

農業者戸別所得補償制度においては、大麦の収量が高いほど、また高品質なものほど交付額は増える仕組みとなっており、これらの良否が収益に直結します。作るからには、高品質麦をしっかりとることが重要です。

適期刈取りと適正な乾燥・調製で、23年産米の集大成を！

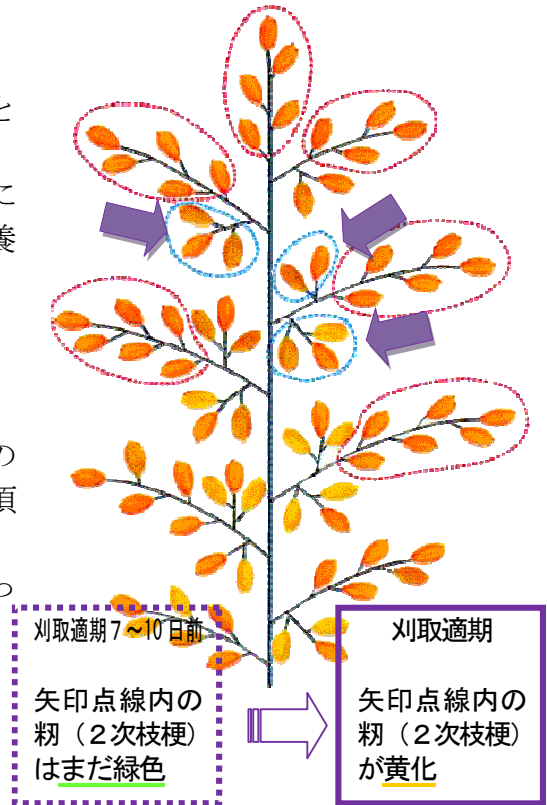
出穂後20日間の湛水管理が終わり、余すところ刈取5～7日前までの間断かんがいと刈取・乾燥・調製のみとなりました。今年の米づくりも大詰めを迎えております。

適期刈取や適正な乾燥・調製によって、品質の高い米に仕上げてください。また、刈取後はしっかり働いた土に栄養分を補給するなど、積極的に土づくりを行いましょ。

1 適期刈取

管内のコシヒカリの出穂期は8月7日頃でした。今後、気温が平年並みで推移すると、刈取の適期（全体の籾の85～90%程度が黄化）は出穂41日後の9月17日頃からなるものと予想されます。

右図は、籾の黄化率の変化を表した図です。余裕を持って乾燥・調製が行えるよう、籾の黄化率をしっかりと確認し、作業計画を立てましょ。



2 適正な乾燥・調製

乾燥・調製のポイントとして次のことが挙げられます。

- ・乾燥機の停止水分は15%未満に設定しない
 - ・刈った籾は4時間以内に乾燥機に入れ、2～3時間程度通風後、乾燥を行う
 - ・初期水分が高い場合（25%以上）は、低めの送風温度で乾燥
 - ・水分が17%を切ったら、手持ちの水分計でこまめにチェック
 - ・青米の混入割合を見て、停止水分を決定
 - ・調製は、穀温が常温になってから開始
 - ・選別機的能力に応じた粒量を流す
- これらを厳守し一等米に仕上げましょ。

＜乾燥機停止水分の目安＞

100粒中の青米数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く（-0.5%）
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる（+0.5%）

【土づくり】

土づくりは、農産物の安定生産を図る上で重要です。珪酸石灰など土壌改良資材の施用を基本に、堆肥や緑肥の鋤き込み等有機物を投入し、土壌中の腐食含量を高めることも大切です。

○腐食含量向上による効果

- ①化学性の改善：養分の保持力が高まるとともに、施肥量を減らすことが可能
- ②物理性の改善：透水性、保水性、通気性が向上し、根張りが良好
- ③生物性の改善：有用微生物等が増え、地力が向上

○主な有機物の投入例

有機物名	播種及び施用時期	すき込み時期	作付体系等	化学肥料(チリ)の低減効果
ハリバッチ	9月下旬～10月上旬	4～5月	ハリバッチ→大豆	基肥の5～10割低減が可能
エンバク	9月下旬～10月上旬	4～5月	エンバク→大豆	基肥の2～3割低減が可能
牛ふん堆肥(2t/10a)	大麦播種前	—	牛ふん堆肥→大麦	基肥の2～3割低減が可能
牛ふん堆肥(2t/10a)	秋耕前	—	牛ふん堆肥→水稻	—

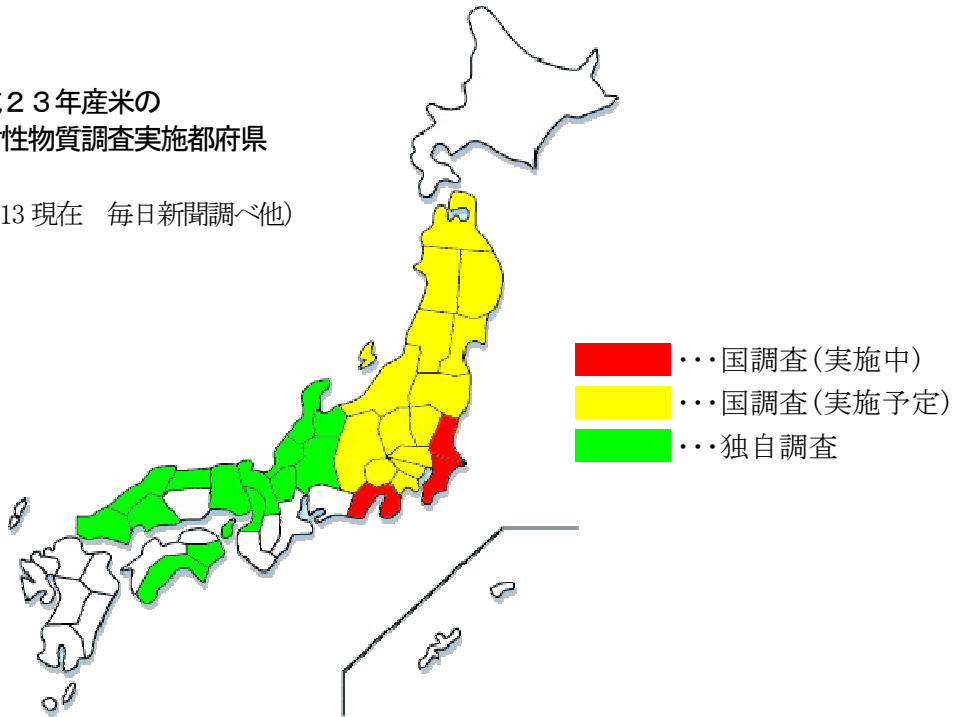
米の放射性物質調査の実施について

平成 23 年 3 月 11 日の福島原発事故の発生以降、放射線による汚染や主食である米の汚染への不安が高まっており、農水省では汚染の可能性のある 17 都県（下図：黄・赤都県）を対象に玄米の調査を実施することとしております。

富山県は対象県とはなっていない上、事故発生後、大気中や上水、降下物など、毎日の観測においても異常値は検出されていませんが、富山米の安全性を明確にするため、県独自に放射性物質の調査を以下のとおり実施することとなりました。ご理解とご協力をお願いします。

平成 23 年産米の 放射性物質調査実施都府県

(8/13 現在 毎日新聞調べ他)



○米の放射性物質調査の概要

	参考調査（立毛中の調査）	収穫後調査（出荷米の調査）	
目的	早生品種の収穫一週間前に検査することで、いち早く県産米の安全性を確認	出荷米を調査することにより、県下全域の安全性を確認	
対象品種	てんたかく	てんたかく	コシヒカリ
点数	県内 16 点 (農林振興センター単位に 4 点 : 当管内では 4 市町で各々 1 点)	県内 35 点 (概ね旧市町村単位に 1 点 : 当管内では旧 5 市町で 7 点)	県内 35 点 (概ね旧市町村単位に 1 点 : 当管内では旧 5 市町で 7 点)
調査時期	8 月 24 日、25 日 (8 月 19 日サプリングされたもの)	8 月 29 日、30 日、31 日 (8 月 26 日までに検体を県へ 持ち込みされたもの)	9 月 13 日、14 日、15 日 (9 月 12 日までに検体を県へ 持ち込みできるもの)
分析機関	県環境科学センター	民間調査機関	民間調査機関
結果公表 (HP)	8 月 25 日、26 日	8 月 30 日、31 日	9 月 16 日 (予定)

※両調査の結果、200 ベクレル/kg を超えた場合、調査地点を増やして、該当市町村の詳細調査を実施
その結果、500 ベクレル/kg (暫定基準値) を超える結果となった場合は、国と対応を協議

【経営改善のポイント その2】 ～貸借対照表の見方～

今回は、財務諸表における貸借対照表の見方について解説します。



1. 貸借対照表の貸方（右側）にある「負債・純資産」について

- 負債・純資産は、経営の資金源を意味し、その調達先から2つに分かれます。

資産	負債	流動負債 固定負債
	純資産	資本金 利益剰余金

○負債とは・・・

- ・他人(JA)からの借入金や未払金・買掛金などの債務を合わせたものが負債です。

○純資産（従来までの「資本」とは・・・

- ・法人経営では「資本金・出資金」（個人は「元入金）」と経営が生んだ利益で構成された金額

(1) 流動負債と固定負債

- 負債の中には、「流動負債」と「固定負債」とがあります。

○流動負債とは・・・買掛金、未払金など1年以内に支払わなければならない短期の負債。

○固定負債とは・・・スーパーL資金・JA資金等、長期間(1年以上)に借りて利用できる負債。

- これらの多少の判断は、資産勘定との比較で行います。

1) 流動負債<流動資産

※流動負債は1年以内に支払わなければならない短期負債であるため、この返済に充てられる預金・現金(流動資産)が最低でも確保されている必要があります。

2) 固定負債<固定資産 の関係になります。

※農業経営では、機械・施設である固定資産の取得は、固定負債の借入で資金調達される場合が多く、通常は固定資産よりも固定負債が少なくなります。

上記のようにない経営は、何か、問題があると考えましょう。

2. 貸借対照表の借方（左側）にある「資産」について

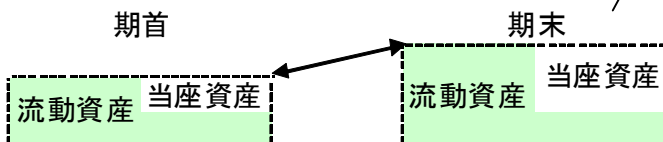
- 資産は、経営を展開するのに必要なお金や機械・施設など調達した資金の運用を表します。

資産	流動資産	当座資産	負債
		棚卸資産	
		その他流動資産	
	固定資産	有形固定資産	
	無形固定資産		
繰延資産	その他投資等	純資産	

○資産の詳細は、左図のようになります。

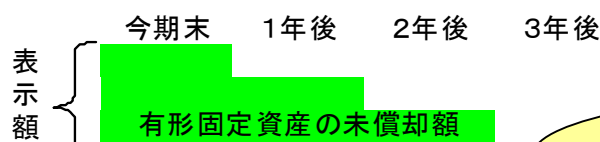
○特に流動資産の「当座資産(現金・預金等)」と固定資産の「有形固定資産(建物・機械等)」に注目しましょう。

(1) 流動資産の比較



○当座資産は、経営の成長を見る「メーター」です。期首と期末を比較し、その増減を把握しましょう。減少している場合は、その理由を考えてみましょう。

(2) 固定資産の状況確認



○有形固定資産は、減価償却の計上により、減少していきます。そのため、中長期の更新計画を予測しておくことが重要です。

貸借対照表では判断しにくいので、固定資産台帳で確認しましょう！

新たな特産品が生まれています！

続々と
デビュー!!

新川地区のできたてほやほやの特産品を紹介します。ご賞味ください。

どら焼き

～製造・販売を一貫して女性起業組織が担っている商品です。～



皮には米粉を適量加え、しっとり感があり、「あん」がたっぷり入った食べ応え十分のどら焼きです。

製造者

(農)食彩あさひ

販売先

JA みな穂農産物直売所
大阪屋ショッパスカ店
なないろ朝市

販売単価

あずきあん
梅あん
各1個 120円(税込)

りんごドレッシング

～農商工連携で生まれた商品です。生産者が製造業者に加工委託しています。～

販売者

宮坂貞子(宮坂農産)

販売先

宮坂農産直売所
JA うおづアグリショップ
大阪屋ショップ
サンプラザ店・魚津本江店

販売単価

1本(300ミリットル)
420円(税込)

1本に約1個のすりおろしりんごが入った、甘さが特徴のドレッシングです。



みな穂の桃ジェラート

～農商工連携で生まれた商品です。原材料生産、製造、販売をそれぞれの組織や会社が担当しています。～



カップに凝縮された桃の味と香りが口いっぱい広がるシャーベットです。

原材料提供

みな穂もも振興会

販売者

合同会社 善商

販売先

JA みな穂農産物直売所

販売単価

1カップ(130ミリットル)
300円(税込)

新川農林振興センターでは、農産物に付加価値を付けた特産品開発を応援しています。



チューリップ球根の栽培にチャレンジしませんか？

営農組織や認定農業者の皆さん、チューリップ球根で経営の複合化を目指しませんか？
チューリップ球根栽培は、労働時間は稲作の10倍と多いものの、県球根組合の一元販売で単価も安定しており、販売金額は約40万円/10aで、土地利用型の園芸品目の中でも利益が見込みやすい品目です。また、平成23年度から県や市町村の事業が拡充され、新規栽培に取り組む経営体を資金面からも後押ししています。

農業ニューリーダー「経営管理基礎研修」を開催します！

○新川農林振興センターでは、青年農業者や新規就農者等を対象に農業経営を管理する上で必要な経営管理の基礎について学ぶ講座を実施いたします。

- 1) 募集対象：青年農業者及び新規就農者等
- 2) 募集定員：10名程度
- 3) 受講会場：新川農林振興センター、天神山交流館
- 4) 受講料：1,000円（1名あたり）
- 5) 受講日時・内容

	開催予定	講座内容・講師	場所
第1・2回 (開講式)	12月1日(木) 13:30~17:30	「経営管理の基礎」 【講義】 「パソコン簿記のための簿記の基礎」 【講義・演習】	農林振興センター
第3・4回	12月9日(金) 10:00~16:00	「パソコン農業簿記の基礎」 【演習】	新川学びの森 天神山交流館
第5・6回 (閉講式)	12月15日(木) 13:30~17:30	「財務諸表の見方と経営計画の作成」 「経営計画(損益)の作成」 「資金繰りを見てみよう」【講義・演習】	農林振興センター

○興味のある方や受講したい方は、担い手支援課 経営支援班まで連絡をして下さい。研修の詳細については、後日送付します。

とやま農業スクール生の募集！

～「とやま農業スクール生」に登録しよう！～

○新規就農者や青年農業者等の育成・確保を目的に、昨年の4月に県と農業関係機関で「とやま農業スクール協議会」を設立しました。

○この協議会では、「とやま農業スクール生」を対象に、情報提供や各種支援を行っています。

①とやま農業スクール研修の実施と情報提供

・スクール生を対象とした研修の実施や季刊情報誌「アグリート」の発行により、各種研修の開催情報や農業施策などをタイムリーに届けます。

②とやま農業スクール生への活動支援

- ・県内外での研修会の参加やスクール生自らが企画する研修会・視察等への支援を行います。
- ・県内外でのイベント・商談会等への出展等の経費への支援を行います。

(問い合わせ先) 担い手支援課 経営支援班まで

農業IT化支援相談員の活用を！

○パソコンによる経営管理の高度化を目指し、県では県内企業と連携し、昨年に引き続き「農業IT化支援相談員を設置しています。

○新川農林振興センターでは、(株)AWSの2名が担当し、**ホームページの作成や複式簿記ソフトなどパソコンで効率的な経営管理**



ができるよう各種研修、相談、出張指導などを無償で行います。

○毎週水曜日には、新川農林振興センター黒部庁舎内で相談会を開催しており、お気軽にお訪ね下さい。

(問い合わせ先) 担い手支援課 経営支援班まで